



新富士ロータリークラブ会報

ROTARY SERVING HUMANITY

— 人類に奉仕するロータリー —

R I 会長 ジョンF.ジャーム
第2620地区ガバナー 生子 哲男
新富士 R. C. 会長 赤 渕 浩 雄
幹事 仲 澤 千 尋

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎週火曜日
12:30~13:30



第1244回例会 (2016. 9. 20)

観月会 (富士グリーンホテル)



会長挨拶



本日は「大雨台風16号」による雨の中の「観月会」となりました。

ススキと満月と会席料理。この素晴らしい雰囲気を用意していただいた本多親睦委員長に感謝申し上げます。昨日、僅かな雨の隙間、曇り空の下、貴重な時間を割いてススキを採取されたとのことです。

今年9月15日が「十五夜」で、16日が「満月」だったようです。

「うさぎ うさぎ 何見てはねる 十五夜お月さま みてはねる」童謡『うさぎ』、この歌をくちずさみながら幼い頃の「十五夜」さんを思いだし、今日も美味しいお料理を頂きましょう

その前に、豆知識を一つ。『お坊さんの常識』という本の中にこんな項目がありました。

●日本料理をたべる

[本膳料理]

日本を代表する格式の高い正式なもてなし料理。料理は三汁十一菜の五つの膳で構成され、現在では宮中の儀式や地方の冠婚葬祭などにみられるだけとなっている。

[会席料理]

本膳料理をベースに、酒宴向けの料理として発達した。今日宴席で出される最も一般的な形式で多くの料理店で取り入れられている。

「会席」という語は本来、連歌や俳諧などのことで、江戸時代に歌会の席が料理屋で行われるようになったと言われています。

どうぞ今夜の会席料理を楽しんで下さい。

私のスマイル

- 川村 武君 外は大雨。室内で中秋の名月みながら楽しい会。本多さん、高橋さんいつもありがとうございます。
- 長原 幹君 秋になりましたね。観月会ですが台風で月は見ることが出来ません。
- 原 睦雄君 月の見えないお月見なんだろうな～。楽しみましょう！
- 川口 平吾君 雨がふって大変でした。
- 小山 哲君 スマイルします。
- 木村 憲司君 台風16号がなにもなく静岡を過ぎてほしいです。
- 森 美城君 雨がよく降りますね。
- 佐藤 常明君 いい観月会です。
- 本多 脩身君 観月会 部屋は万月 外は台風
- 高橋 孝行君 観月会、ありがとうございます。本多さん、色々とお助けいただきありがとうございます。
- 斉藤 寛明君 22日のゴルフの予定がキャンセルになってしまいました。早く台風には去ってほしいところです。
- 仲澤 千尋君 今日は観月会、よろしくお願ひします。
- 和田 三郎君 台風が無事通過するようにスマイルします。
- 稲葉 邦文君 台風です。お月見はナシですね。
- 赤渕 浩雄君 今回の台風は「山の上」で良かったです。来る途中の道路は「モーターボート」の様でした。
- 林 和子君 台風16号、何もないことを祈ります。
- 久保田 元久君 観月会、雨でどんねんです。
- 堀井 健治君 観月会、あいにくの台風です。
- 小串 民義君 台風の中ご苦労さま。
- 梅谷 明子君 今年最後の台風になりますように。
- 渡邊 哲男君 準備、御苦労様でした。
- 雨森 和彦君 本多さんに強制されました。

プログラム予定

10月2日(日) ウォーキング例会
(富士山・宝永山)

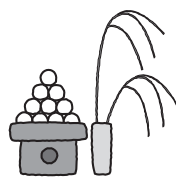
10月18日(火) クラブフォーラム
(サイエンス・社会奉仕)



長原 幹前会長の音頭で乾杯



観月会



本多親睦委員長に用意して
いただきました月とススキです

お料理おしながき

前菜 きのこと白和え 煙ささえ 生ハムアボカド巻

酢の物 蟹 秋刀魚 胡瓜

造り 鮪 太刀魚焼 高作り

煮物 あわじ いたんげん はす芋 茄子 人参

焼物 サイモン 朴葉焼 エリンギ しし唐

洋皿 牛ステーキ

揚げ物 海老 新選根 椎茸 万願寺唐辛子

食事 いくら御飯 おかひじきの味噌汁 香の物

水菓子 柿

平成二十八年九月二十日
富士グリーンホテル



富士山・宝永火口ウォーキングの お知らせ



川口委員

平成28年10月2日(日)

富士宮登山道 5 合目 午前10時集合

※食事、飲み物等は各自負担してください。

駐車料は無料です。5合目の売店は価格が2倍以上
します。トイレは水洗ではありません。
10時開会点鐘のあと、40分ほど高地に体を馴染ませ
てから登山をはじめます。
5合目から6合目の山小屋までは歩き慣れた人なら
20分ですが、30分ほどかけてゆっくり歩きます。そ
こから平坦な道を10分ほどで宝永火口に到着しま
す。赤茶けた山肌の宝永山、宝永火口の第一火口、
第二火口、第三火口を堪能しながら食事をします。
帰りは来た道を戻り、自然解散とします。